

平成27年度

進路状況

茨大・宇大など国公立10名
法政大・東京理科大など私立259名

本校生の進路状況を見ると、卒業生の約60%が大学へ進学し、約25%が専門学校へ進学しています。また、公務員を含めた就職希望者も約10%ほどいます。浪人して次の年に進学を考える者も含めると、卒業生の65%くらいが大学進学を目指していることがわかります。最近5年間では地元の茨城大学や筑波大学、近隣の宇都宮大学や群馬大学など、毎年10人〜20人くらいの国公立大学合格者を出しています。山形大学や福島大学、山梨県の都留文化大学や北海道の北見工業大学といった地方の国公立大学に合格し、親元を離れて旅立つ卒業生も見られます。私立大学では法政大学や東京理科大学、獨協大学や文教大学など、比較的近い大学への進学が目立っています。過去5年間では青山学院大学や明治大学、立教大学や日本大学、東洋大学や駒澤大学などに合格者を出しています。大学生となった卒業生たちは長期休業には帰省をし

て母校に顔を出し、一回り大きくなった姿を見せてくれています。また、教員志望の生徒も多く、6月の教育実習の時期には、若い実習生が境高校に活気を与えてくれます。

専門学校では看護医療の道へ進む生徒が多いのが境高校の特徴です。このような道を目指す生徒たちは、在学中に看護体験やボランティア活動などにも積極的に参加しています。就職希望者の多くは地元企業に就職します。いずれは企業を引っ張っていく人になり、期待にこたえられる人材として育てたいと思います。警察や消防、自衛隊に合格し、地域の安全を担う使命を持って卒業していく生徒が多いのも境高校の特徴です。今後も、生徒一人一人の進路希望をかなえるために学力の向上をはかり、学習環境も充実させて、進路実現に取り組みんでいきたいと考えています。

〔国公立大学〕

- 茨城大学……………3(1)
- 宇都宮大学……………3(1)
- 山形大学……………1
- 群馬大学……………1
- 高崎経済大学…1
- 都留文化大学…1

〔私立大学〕

- | | | |
|-------------|-------------|---------------|
| 亜細亜大学……3 | 東京農業大学…2 | 武蔵大学……………1 |
| 国士舘大学……7 | 東京理科大学…1 | 立正大学……………9 |
| 芝浦工業大学…1(1) | 獨協大学……………5 | 獨協医科大学…1 |
| 大東文化大学…3 | 東洋大学……………17 | 国際医療福祉大学…3 |
| 拓殖大学……………3 | 日本大学……………8 | その他……………184 |
| 帝京大学……………6 | 法政大学……………2 | |
| 東京電機大学…6 | 文教大学……………4 | 合計……………259(6) |

()内は過年度

過去5年間の大学進学状況 (過年度卒=浪人生も含む)

| 年 度 | 国公立大学 | 私立大学 |
|---------|-------|------|
| 平成27年度卒 | 10 | 259 |
| 平成26年度卒 | 10 | 259 |
| 平成25年度卒 | 19 | 251 |
| 平成24年度卒 | 14 | 235 |
| 平成23年度卒 | 17 | 240 |

短期大学合格者数…8



平成27年度 部活動大会等の主な成績

境高校は、伝統ある文武両道の学校です。文字通り勉強だけでなくたくさん生徒が部活動に励んでいます。運動部・文化部がそれぞれ全国大会をはじめ、関東大会、コンクール出場など毎年華々しい活躍をしています。

特に運動部においては、陸上部が棒高跳びで全国大会・国体出場、卓球部が関東大会に出場しました。

また、文化部においても吹奏楽部が全国場で活躍し、科学部が茨城県高文連において最優秀賞を獲得するなど輝かしい成績を収めました。その他の部活動においても素晴らしい成績を収めています。



陸上部

吹奏楽部



剣道部



弓道部

陸上部

茨城県高等学校陸上競技大会

男子棒高跳 第1位 内田涼太 第3位 五十嵐祐樹

男子砲丸投 第6位 齊木正樹

関東高等学校陸上競技大会

男子棒高跳 第2位 内田涼太(インターハイ出場) 第14位 五十嵐祐樹

男子砲丸投 第19位 齊木正樹

茨城県高等学校陸上競技新人大会 女子800m 第4位 江連はるか

国民体育大会 少年男子A棒高跳 出場 内田涼太

第97回全国高校野球選手権茨城大会 3回戦進出

野球部

茨城県予選ベスト16

全国高等学校サッカー 茨城県予選ベスト16

サッカー部

関東大会予選会 男子団体 ベスト8 女子団体 ベスト16

インターハイ県予選 男子団体 5位入賞 女子団体 ベスト16

県勝ち抜き大会I部 男子団体 ベスト8

剣道新人大会 男子団体 ベスト16

剣道部



茶道部



書道部

サッカー部



野球部



【弓道部】

夏季地区大会 男子2・3年の部 第1位 張替康弘 第2位 和田奨平
 男子1年の部 第2位 田中克侑
 新人戦地区大会 男子団体 第2位

【男子バスケット】

関東高等学校新人バスケットボール大会茨城県東西地区予選 第2位
 関東高等学校新人バスケットボール大会茨城県予選 ベスト16
 関東大会東西地区予選会 第3位
 関西地区予選会 第3位

【女子バスケット】

新人テニス県大会(団体) 男子 出場 女子 ベスト32
 県新人大会 団体戦 出場

【男子バレー部】

関東大会東西地区予選会 第3位
 インターハイ東西地区予選会 第3位
 新人戦東西地区予選会 第3位
 インターハイ東西地区予選会 第3位
 県西地区ジュニア大会 第2位

【卓球部】

関東高校卓球大会県予選会 男子団体 ベスト16
 茨城県高等学校新人団体戦 男子団体 第3位
 関東高等学校新人卓球大会 出場
 関東大会県予選 出場

【空手道部】

高校総体県予選 出場
 関東高等学校選手権水泳競技大会出場

【水泳部】

女子200m平泳ぎ 真中花映
 女子100mバタフライ 菅谷奈帆

【吹奏楽部】

吹奏楽コンクール県大会B部門 金賞(県代表)
 東関東吹奏楽コンクールB部門 銀賞
 日本管楽合奏コンテスト全国大会 優秀賞
 アンサンブルコンテスト県大会 クラリネット五重奏 銀賞
 関東高校演劇サマーフェスティバル2015 出場

【演劇部】

茨城県高校総合文化祭写真真展 入選
 青木岳 飯田侑奈 小野日花里 田中克侑

【美術部】

茨城県高校総合文化祭美術展覧会 絵画の部 入選 大西フロレンシア
 茨城県高文連自然科学部部門研究発表会 地学部門 最優秀賞(総文祭県代表)

【科学部】

茨城県高等学校教育研究会長賞
 飯田萌絵 関沙有美 小川未来 小野日花里 藤木加奈
 茨城県高校総合文化祭美術展覧会 書道の部 入選 中村優里

【英語部】

英語インタラクティブフォーラム県大会(B部門)

【書道部】

茨城県高校総合文化祭美術展覧会 書道の部 入選 中村優里

多士 済々

境町シニア木版画ビエンナーレ展開催に参画して

木版画家 富張 広司(高7)

2016年3月、全国公募の「境町シニア木版画ビエンナーレ展」が開催されました。ビエンナーレとは隔年制と云う意味で、2年毎に開かれるアートイベントです。シニアを対象としたこの度のビエンナーレは、全国初で版画界からも広く注目され、19都府県から応募があり、質の高い木版画展となりました。境町でこのような全国で初めての催しが出来たことは極めて画期的なことだと思います。このことにより町民の今後の生き方に自信と豊かな夢が描けることと嬉しく思います。

ところでどうしてこのビエンナーレが実現できたのか。それはフレッシュな政治的感性を持つ橋本正裕境町長の一言であったのです。圏央道開通の記念行事に何かあるだろうかとこの話題の最中、私がシニアの木版画公募展を提案したところ、即座に「先生それをやりましょう」と決断されたのです。

このような行事は通常官民一体の実行委員会が主催するもの。今



山粧う・Fuji(木版画)40x28cm 2015年

度も境町、境町教育委員会と民間の「さかい木版画会」が絶妙にコラボした結果成り立ったのです。私は審査員で実行委員としても初めから参画していました。さかい木版画会会員の大半は境高の卒業生です。ポスター貼りやチラシの配布など宣伝活動から展覧会の飾付会場当番等は民間が担当。ビエンナーレの経費は橋本町長が特に力を注いでいる『ふるさと納税』からであり官民一体の力強い成果であったのです。全国から1000点を超える応募があり、しかも力作揃いで、審査員として東京から招聘された「版画芸術」編集主幹の松山龍雄氏も驚く程、応募作品のレベルの高さを絶賛しておりました。

会期前日の授賞式、レセプションには100名程の出席者があり、充実した内容に話し合い交流が盛り上がりました。受賞者のなかには遠く広島や関西からも参加して、私たちが一同感激一念でした。今回のビエンナーレの特徴は展示内容の豊富なことです。各地で開かれるビエンナーレは受賞作と入選作品のみの展示ですが、勿論これが重要なことは云うまでもありません。しかし今回の境展では可能な限り幅広く関連した作品や町内の物産資料の展示、さかい道の駅の案内等、多角的なイベントにしたいと心がけ好評を得ることができたのです。

私の展示作品は参考出品で代表作と今回のビエンナーレのポスター原画などです。加えて『富張版画提灯』も展示し話題となりました。私の版画作品を薄口の西ノ内和紙に刷りとり、水戸の水府提灯の技法で作りました。

私が指導している「さかい木版画会」展も同時開催し、身近な人たちの作品に町内からの鑑賞者には特に親しみを持って観ていただけたようです。

会期中の入場者は町内はじめ県内近県遠方より予想以上に1000名を超える結果となりました。なかには作品の購入希望者が出たり、時間をかけ熱心に見入る姿が

印象深く、全国公募のこのビエンナーレの成功を実感したのであります。

わが国の木版画は浮世絵以来の伝統があり、国際的にも今なお高い評価を得ています。残念ながら欧米謳歌の風潮のためか、わが国の木版画制作者は多くはないのです。圏央道が開通し、陸運の拠点として発展が期待される境町。この境町から木版画ビエンナーレを契機に木版画の魅力の世界に発信して参りたいと考えているのです。



ビエンナーレ展会場にて 筆者左端